

もうひとつ京都CF！スタッフブログ  
京都CF！スタッフブローグ  
がここにあります。



「京都CF！編集長の無責任時代」「nao's 京都牧遊記」など、京都CF！のスタッフが京都の街を綴ります。スタッフが街で見つけてきたオモロイもん、誌面では紹介できなかった取材の裏話や取材の現場などを、日々の奮闘ぶりと共に垣間見ることのできるのがこのブログ。スタッフブログへのアクセスは、下記の京都CF！ホームページからどうぞ。

<http://www.kyotocf.com/>

共通して言えることは、車のオーナーが安価なバーツと自由なバーツや、車のオーナーが楽しめる車のこと。まずは自由なバーツで止まつた、同じ車のオーナーが嫉妬するのは「高価なエアロパーツ」ではなく、「キンピカのアルミホイール」である。



1. ダミー・エアインテーク  
自然吸気エンジンをターボ車に見せる裏技は、なんと違う車種のバーツを流用してしまう。部品はメーカー純正でも1000円~2000円  
2. ダミー・ツイン・フォグ  
腕に憶えのある人はどうぞ。ホームセンターで販売している排水管・塩ビ配管パイプをカットしてフォグランプを2台配置。純正でなければ4000円ぐらいくるところ、材料費と塗装費用でおよそ5000円  
3. ウッド・ホイルキャップ  
無機質になりがちなホイルキャップをウッド調に可愛く仕上げる技なのだが、実はこれ100円ショップで売っている「お盆」。ホイルキャップとしネジ一本で取り付けたもの。4輪で400円!



写真とは関係ありませんが、三千院に向かう山道で売っているアイスキュウリは必食です。もなく「150万円です~」などベタなボケが付いてきます。

キモ可愛いが  
ウケルのは  
やはり時代の  
流れ、か？

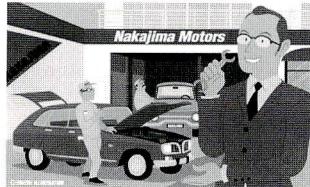
今月の  
オレ  
が  
甘かった

大原の謎に迫る！?

■三千院近辺

## Kyoto Car-Moratorium ~京都人のクルマ知らず~

「京の街を走る車に、京都人の粹を見ることは少ない」という思いから車を発したこの企画。何となく個性的だが心を奪われる車がない。つまり「ナイガイは結婚が遅れる」という状態。先月はインテリアの工夫を紹介したが、今月は、プロの私が心を奪われた「エクステリア編」を紹介したい。



中島 崇 (なかじま・たかし)

'68年生。自称「車選びの達人」。創業昭和38年、北区は紫野の自動車屋・(株)中島商会の二代目社長にして「安くいい車」を探すスペシャリスト。かつて自動車オークションの取引で2000万円をドブに捨て、大失敗の連続から学んだノウハウをまとめた無料小冊子「その車に手を出さない！」も好評。中島流「車道家元」を目指す京都人。

4th Lap

## 映画的 映画二昧

イラストと文  
ハヤシチサコ



ハヤシチサコ・無類の映画好きのイラストレーターにしてグラフィックデザイナー。「Club Fame」時代には、彼女のデザインが表紙を飾ったこともあり。編集部の熱望により本誌への登場と相成った。